

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年4月16日(2015.4.16)

【公開番号】特開2013-186332(P2013-186332A)

【公開日】平成25年9月19日(2013.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-051

【出願番号】特願2012-51920(P2012-51920)

【国際特許分類】

G 0 9 G	5/00	(2006.01)
H 0 4 N	5/74	(2006.01)
G 0 3 B	21/14	(2006.01)
G 0 3 B	21/00	(2006.01)
G 0 9 G	5/38	(2006.01)
G 0 9 G	5/36	(2006.01)

【F I】

G 0 9 G	5/00	5 1 0 B
H 0 4 N	5/74	D
G 0 3 B	21/14	Z
G 0 3 B	21/00	D
G 0 9 G	5/00	5 5 0 C
G 0 9 G	5/38	
G 0 9 G	5/00	5 3 0 H
G 0 9 G	5/36	5 2 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月27日(2015.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 4】

図9は、補正值を算出する方法を説明するための図である。まず、補正值を算出するためには、図9に示すようにスクリーン枠直線LA1iとLA2iとの交点Vを求める上で、パネル座標におけるスクリーン枠の頂点を求める。同様に、スクリーン枠直線LB1iとLB2iとの交点、スクリーン枠直線LC1iとLC2iとの交点、スクリーン枠直線LD1iとLD2iとの交点を求めて、パネル座標におけるスクリーン枠の頂点をそれぞれ求める。そして、求めた頂点の座標から、周知の方法(射影変換)により入力画像に台形歪み補正をするための補正值(例えば射影変換係数)を算出する。算出された補正值は、RAM175に格納される。